

福井県ふるさと文学館 夏季企画展

自由いっぱい！奇想天外！

長新太

ナンセンス・ワールド



2025年7月12日(土)-9月28日(日)

開館時間：火～金▶9時-19時／月・土・日・祝日・7/22(※)・8/12(※)▶9時-18時

休館日：7/14(月)・7/17(木)・8/25(月)・8/28(木)・9/1(日)・9/8(日)・9/16(木)・9/18(木)・9/22(月)・9/24(木)

主催：福井県ふるさと文学館 共催：ちひろ美術館 協力：トムズボックス 企画協力：アートキッチン



観覧無料

上=『ゴムあたまポンたろう』より 1998年

『キャベツくん』より 1980年

『ろくべえまってるよ』より 1975年

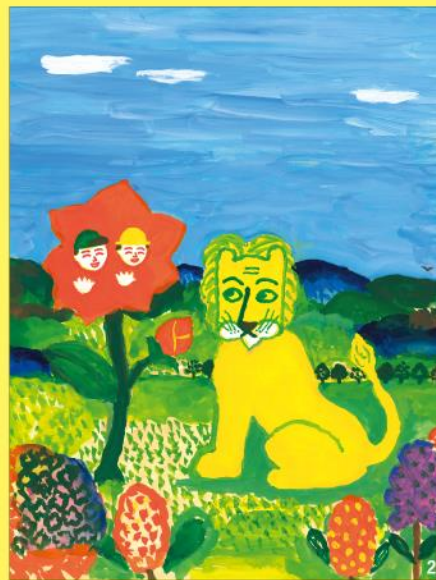
下=『みんな いきている』(『小学校 せいかつ』より) 1992年

©CHO SHINTA



福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE

ふるさと文学館



1.2 「こんにちは! へんてこライオン」2004年 3 「本とコンピュータ」カット 2000年頃 個人蔵

長新太
没後20年記念
不滅の
ナンセンス
ワールド
へようこそ!



初公開を含む原画 約120点、貴重な資料を展示します。

第1章 ▶ 漫画家としての出発

漫画同人誌「えへ」や「がんま」、「漫画讀本」に描いた初期の漫画やカット、絵の仕事を紹介。福井県出身の久里洋二との関連についても紐解きます。

第2章 ▶ 絵本作家の道へ

作家の文章に絵や挿絵を描いた「星の牧場」「プラテロとわたし」「きつねとかわうそ」「えをかく」「ろくべえまってるよ」などの原画作品。

第3章 ▶ ナンセンス・ワールド まっしぐら

文章と絵の両方を長が手がけた『ぼくのくれよん』『キャベツくん』『ゴムあたまポンたろう』『もじゃもじゃしたものなーに?』など、代表作の原画作品。

第4章 ▶ ナンセンスも オノマトペも

ふたごのクツのかわいいナンセンスなお話「クーくんツークんのえほん」、『にゆるべりりん』など、音と絵を楽しむオノマトペ絵本の原画作品。

第5章 ▶ 漫画も雑誌もエッセイも 多彩な創作活動

「こどもちゃれんじ・すてっふ」「本とコンピュータ」の表紙絵やカット、本や雑誌の挿絵、イラストレーション、漫画、絵画作品、ダミー本、画材や愛用品など。



えをかく
1973年〔作・谷川俊太郎〕



いたずらラッコとおなべのほし
1973年〔作・神沢利子〕



ぼくのくれよん
1973年〔作・長新太〕



ろくべえまってるよ
1975年〔作・灰谷健次郎〕



ちへいせんのみえるところ
1978年〔作・長新太〕



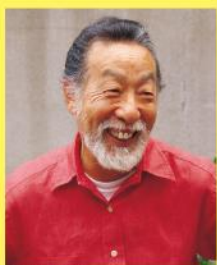
キャベツくん
1980年〔作・長新太〕



もじゃもじゃしたものなーに?
1994年(改訂版)〔作・長新太〕



ゴムあたまポンたろう
1998年〔作・長新太〕



©河野利彦/平凡社

長新太 (ちょう・しんた)

1927年、東京に生まれる。1948年、東京日日新聞のマンガコンクールで入選を果たし、漫画家として活動を開始。1958年、堀内誠一の勧めで、最初の絵本『がんばれさるのさらんくん』を世に出す。以来、『おしゃべりなたまごやき』『ぼくのくれよん』『キャベツくん』『ゴムあたまポンたろう』などロングセラーとなる絵本を数多く手がける。その絵、言葉においても独特のユーモアに満ちた作品世界で、日本の絵本にナンセンスの分野を切り拓いた。2005年6月逝去。

日本を代表する絵本作家のひとりである長新太。1927年、東京に生まれ、20代前半より漫画家として活動を開始しました。1958年、初めての絵本となる『がんばれさるのさらんくん』を福音館書店より出版。以来、絵本作家、画家、イラストレーター、漫画家、エッセイストとして広く活躍しました。

やわらかく、それでいて鋭い描線と独特の色彩表現。どこかおかしく不思議な言葉が連なる長の創作には「ナンセンス」の世界が広がっています。頭の中に浮かぶ奇妙な空想や歩きながら思い浮かべるあるはずのない風景。長の描き出す、常識にも形式にも縛られない奔放な発想は読む人の心を開き、解き放ちます。子どもたちは共感し、大人は童心を思い出す非日常の感覚がそこにいきいきと輝いているのです。2025年は、長が77歳で亡くなってから20年の節目の年でもあります。本展ではロングセラーとなった『キャベツくん』『ろくべえまってるよ』『ぼくのくれよん』『えをかく』などの絵本原画、絵本を作る際に手がけた『ゴムあたまポンたろう』『くもの日記ちょう』などのダミー本、『人間物語』など漫画の原稿まで、初期から晩年にいたる作品や貴重な資料から長新太のナンセンス・ワールドの秘密に迫ります。

関連イベント [参加無料/要申込]

■ トークイベント 「長新太のナンセンス・ワールドをめぐる」
生前の長新太と交流のあった編集者、土井章史さんに、その作品の魅力や創作秘話、人柄などについてお話いただきます。

日時: 8月10日(日) 14:00-15:30

トーク: 土井章史氏 (編集者・トムズボックス代表)

聞き手: 林 綾野氏 (本展キュレーター)

会場: 福井県立図書館 多目的ホール

定員: 100名

WEB申込みはこちら



「長新太ポップアップストア開店」 8月10日(日) 15:30-17:00
イベント終了後、長新太関連の書籍や絵本、ピンバッジなどを販売します。どなたでも入場できます。

■ ワークショップ 「コラージュでナンセンス漫画をつくろう」
長新太の絵本『みんなでつくっちゃった』をアイデアにコラージュの技法を使ってナンセンスな漫画や絵をつくるワークショップです。
〈制作に使う道具は当館でご用意します〉

日時: 8月24日(日) 14:00-15:30

受付: 8月1日(金)より開始 (電話受付のみ)

講師: 高橋 歩氏 (クリエイティブディレクター・本展デザイナー)

会場: 福井県立図書館 研修室

定員: 20名 (小学4年生以下は保護者の方も同伴ください)

アクセス

- フレンドリーバス(無料)▷JR福井駅東口バスターミナルから約15分
- 路線バス▷JR福井駅西口交通広場5番のりばから市内バス62系統(一乗楽線)約12分
- 車・タクシー▷JR福井駅より約15分/北陸自動車道・福井ICより約20分



福井県
FUKUI MUSEUM OF
LITERATURE
ふるさと文学館



〒918-8113 福井県福井市下馬町 51-11 福井県立図書館内
TEL: 0776-33-8866 FAX: 0776-33-8861
E-mail: bungakukan@pref.fukui.lg.jp
https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bungaku/index.html